



CCS便り

NPO 法人 キャリア・カウンセラー札幌
令和元年 10月 5 日発行

会報 Vol .20

〒060-0052 札幌市中央区南2条東6丁目 2-1
B-205

TEL. 011-596-6242

FAX. 011-596-6267

E-mail ccs2012@vega.ocn.ne.jp

URL <http://www.ccsap.jp>

今年度半ばに思う

以前も書いたことだが、一昨年から残った会員で新しい試みに挑戦し組織の再活性化に努めてきた。ホームページ上に「就職活動ガイド」や「投稿」を掲載したことや、新規の事業として応募書類添削事業を始めたりしてきた。

また、助成金の獲得への取り組みを開始し予算化に成功したことで活動の内容の充実化を進めることができています。それは、「講演会」再開や「研修会」「相談会」の実施回数増の実現の形で活動の幅を広げることにも効果的であった。

であるから、今年度は過去の2、3年にも増して活動内容の充実した年になってきている。そのことは、極めて喜ばしいことであり、組織の活性化や発展には欠かせない活動量の増加と幅のある活動の増加に繋がっている。

これからの半期には、講演会や研修会が目白押しになる。

講演会の内容も、これからのキャリア・カウンセリングに必要なであろう知識の修得や、その実践に必ず役に立つ内容を具備している。

また、研修会はカウンセリングの基礎の学習や経験者の再履修及び今後のキャリア・カウンセラーを取り巻く環境を考えるヒントになるような内容で再スタートをきる。

上記のごとく、今年度後半は我々の活動の正念場だと考え、きっちりと活動したいと考えている。

また、キャリア教育に向けた取り組みとして高校での教師へのキャリア・カウンセリング定着に向けた研修を実施し、好評のうちに終了した。

上記の活動と同時に、新規のアイデアの企画化と事業構築を進めていきたい。

今後も、こうした「新しい試み」を続けながら活動の更なる充実化に取り組み続けたい。

NPO法人キャリア・カウンセラー札幌

理事長

平澤 麦生

職業訓練考

キャリア・カウンセラー 平澤 麦生

近年、職業訓練の訓練生が減少し中には開講不能な訓練もある状況ときく。

ノンスキルの人々がスキルを得て就職に繋げやすくなるのが職業訓練。実施できる場所や講師の能力が空振りとなっているのなら「モッタイナイ」。

ただ職業訓練の内容は厳しく管理し質の向上を絶えず図る必要がある。

例えば、単にパソコンの基礎だけを教えるような内容は今後、減少の一途をたどるだろう。それは、今、パソコンの能力の低い一般人は減り、民間の教室で簡単に基礎は身に就く時代だからである。

事務系でいえば更に高度な事務スキル（簿記や総務系事務関連）を修得させる訓練の創出が待たれる。

過去に民間の職業訓練校の事務局業務を4年間経験した。

その間に、あまり考えることなく実施された単純な訓練があり（今から10年近く前・・・）民間の職業訓練校は思わぬ好景気に沸いた。

それは求職者が訓練受講すると月10万の補助を受けることが可能というもので、実施企業にも相応の補助があるという単純なものだった。

したがって、私が所属した訓練校も大変に潤った。

学科も「パソコン教室」の延長で、はっきり言えばかなりレベルの低いものがほとんどだった。その後、政権が代わり、これはすぐに廃止された。

今、考えれば当たり前の事だ。

実施校がぼろ儲けする、こんな施策が長続きする訳はない。

そして、その職業訓練校退任後も別の職場で職業訓練担当になり、進展を見守る立場になった。

職業訓練には2種類あってポリテクセンターや技専等の公共的な場所での本格的な技術を中心とした訓練が一つ。

ポリテクセンターや技専、それらの機関が外部に委託する訓練が一つ。

後者が民間の訓練校の草刈り場だ。

大昔は「パソコン教室」のようなものが多かったが、徐々に事務系の経理、総務要素を加えたものが増加した。

これが6、7年前の状況だったと思う。

ここまでは職業訓練は高度化し進化した時期だった。

この方向でのバラエティ化が理想と、今でも思っている。

この進化の方向は、実は実施校にとって辛いものなのだ。

何故ならば、費用がかさむからだ。

単純なパソコン講師の賃金と簿記などを教える講師の時間あたり給与は後者が圧倒的に高い。高度な内容にすればする程、実施校には辛いものになる。

しかし、これは良い方向なのだ。

何故なら、高度なスキルを身に着けた人々が増えるからだ。

まとめると、過去に大ブレした「職業訓練」の施策は6、7年前に高スキルを身に着けさせるものに進化したが、3、4年前に単純な技能取得モノに変貌した。

例えば「ネイル」や単純な介護のもの、単純なプログラミングのもの等々が多くなった。

これらが実施されるようになった当初から、疑問に感じたことだが、こうした単純スキルが永続的に社会で通用し続けるか、ということだ。

結論から言えば、ここ数年、こうしたものは完全にではないが姿を消しつつある。

高スキル取得を目指すものが増えつつある。これは重要なことだ。
そして、前に書いた、以前勤務した職業訓練校は職業訓練では食えなくなった。
何故か。
過去に年間10数コース受託した訓練が現在では年間3、4コースしか受託出来ないからだ。
これで収入は大幅減、従業員も大幅減となった。
これは仕方のないことだ。
やはり組織が進化し続けるためには、絶えまざる質の向上が必要とされる。
これを怠った組織は時代に取り残される、これは宿命だ。
質の向上を忘れた組織は生き残れない、のが現代。
いうまでもなく利得だけを目的とした考え方は受容されないからだ。

(完)



高校での研修の様子。

就職支援相談会

日時 2019年10月15日(火)
11月19日(火)
12月17日(火)
時間 13:00-16:00
場所 札幌市民ホール
会議室
料金 無料

お申し込みはメール、電話、または
ファックスにて

編集後記

新しい年度が始まり、決意も新たに活動を推進しています。

活動内容に幅を持たせながら、常に新しいことを試みる。そんな気持ちで今年も全力で走ろうと考えています。

(T・H)